
正しく読むためのわかりやすい「3・1独立宣言書」

쉽고 바르게 읽는 3·1독립선언서
일본어 번역본

正しく読むためのわかりやすい「3・1独立宣言書」を配布するにあたって

1919年3月1日、全国7つの都市で独立宣言式が行われました。独立を願って集まった大勢の人たちの前で「3・1独立宣言書」が読み上げられました。

「私たちは今日ここに、朝鮮が独立国であり、この国の主は朝鮮人であることを宣言する」という冒頭の文章を聞いたときの、人々の気持ちはどうだったでしょう。

苦しい日々を生きていた韓国人に希望の光をあたえた「3・1独立宣言書」は、崔南善という人が書きました。

原稿を書き、何度も検討、修正してできあがった「3・1独立宣言書」に、33名の宗教指導者がわが民族の代表者として署名をしました。天道教の指導者15名、キリスト教の指導者16名、仏教の指導者2名が、我が国独立の願いをこめて署名したのです。

「3・1独立宣言書」は1919年2月27日に印刷され、2月28日に全国に配布されました。そして3月1日、全国7つの都市で読み上げられました。

その後、印刷設備のある学校や教会でさらに数百枚、数千枚を刷り、全国各地で毎日のように行われた万歳デモの現場で読まれました。

みなさんも実際に万歳デモの現場で読み上げるような気持ちで、一度「3・1独立宣言書」を読んでみてください。

2019年 1月



正しく読むためのわかりやすい「3・1独立宣言書」

私たちは今日ここに、朝鮮が独立国であり、この国の主は朝鮮人であることを宣言する。私たちはこれを世界中の国々に知らせ、人類はみな平等であるという大義をはっきりさせ、私たちの子孫が独立した民族として生きていくための正当な権利を永遠に持てるようにしようとする。

この宣言は、五千年間続いてきた私たちの歴史の力によってなされるものであり、2千万人の民衆の忠義がこめられている。わが民族がいつまでも自由に発展するためのものだけでなく、人類が良心にしたがって作る世界の変化の潮流に足並みをそろえるためのものである。これは天の意志であり、時代の流れであり、全人類がともに生きていくための正当な権利である。この世のいかなるものも私たちの独立を阻むことはできない。

わが民族は古い時代の遺物である侵略主義や強権主義の犠牲となり、この10年間、数千年の有史以来初めて他の民族によって抑圧され、苦痛を強いられてきた。この間、自らの力で生きる権利を奪われた苦しみは計り知れず、また精神的に発達する機会が阻まれた苦痛はおしはかることもできない。さらにどれだけ民族の尊厳を傷つけられ、新しい技術や独創性によって世界の文化に寄与する機会を失ってきたことだろう。

ああ、これまで積もった悔しさを晴らし、今の苦しみから逃れるために、この先襲ってくるかもしれない脅威をなくすために、抑圧された民族の良心と失った国家の正義を再び興すために、人々がそれぞれの人格を発達させるために、私たちの哀れな子どもたちに悲しい遺産の代わりに完璧な幸福をあたえるために、私たちがまずしなければならないことは確実に民族を独立させることである。

今日、私たち二千万人の朝鮮人は、それぞれの胸に刃を抱いた。全人類と時代の良心は、正義の軍隊と人道主義の盾となって私たちを守っている。よって私たちが進んで戦えばどんな強敵でも倒すことができ、たとえ退いたとしても、志さえあればどんなことでも成し遂げることができるのだ。

私たちは1876年の江華島条約締結後、日本は様々な約束を守らなかったから信用できない国だと非難しているのではない。日本の学者や政治家たちがわが国を奪い、私たち文化

的民族を野蛮人扱いし、私たちの長く続いた社会と民族の素晴らしい心性を無視したからといって、日本が義理を欠いたと責めるつもりはない。

自らを鼓舞するだけで精一杯の私たちには、他人を恨むひまなどない。私たちは今の過ちを正すことに忙しくて、過去の過ちをなじる余裕などない。今、私たちのすべきことは、自分自身を立て直すことであって、他人を破壊することではないのだ。良心にしたがって私たちの新しい運命を切り開いていくことであって、決して蓄積された恨みや、一時的な感情で嫉妬したり排斥したりすることではない。私たちはただ、古い考えや古い勢力に凝り固まっている日本の政治家たちの功名心の犠牲になった不合理な現実を正し、自然で正しい世の中を取り戻したいだけなのである。

初めからわが民族が望むところではなかった、朝鮮と日本の強制併合がもたらした結果を見よ。日本による抑圧と、民族差別の不平等と、でっちあげられた統計データによって、利害が対立する両民族間に和解できない怨恨が増長されつつある。

いまここで思いきってこれまでの過ちを正し、真の理解と共感をもち、協調して互いに仲良く新しい世の中を作っていくことが、互いに禍を避け、幸せになる近道ではないだろうか！

また、鬱憤と恨みが骨身に沁みている二千万人の朝鮮人を力で抑えつけることは、東洋の平和を保障する道につながるだけでなく、東洋の安全と危機の決め手となる四億の中国人が日本をさらに恐れ、憎むように仕向けることとなり、結局は東洋全体が滅びるといふ悲劇をもたらしかねない。今日、わが朝鮮の独立は、朝鮮人に正当な繁栄をもたらすと同時に、日本が間違った道から抜け出て東洋における責任を全うさせることになる。またこれは、日本に土地を奪われるのではないかという不安と恐れから中国を自由にさせることであり、世界の平和と人類の幸福の^{かなめ}要となる東洋の平和を成し遂げる足場を作ることになる。これでも朝鮮の独立が些細な感情の問題だといえるだろうか！

ああ、新時代が目の前に広がっている。力で抑えつける時代は去り、人道主義と正義の時代が到来した。数千年もの間、磨き上げてきた人道主義の精神によってようやく新しい文明の曙光が人類の歴史を照らしはじめた。世界に新しい春が到来し、すべての生命をよみがえらせようとしている。冷たい雪の中で息を殺していた時代は去り、さわやかな風と暖かい光に照らされた、生気みなぎる新しい時代がやって来たのだ。

この世の道理が息を吹き返した今、世界の変化の流れに乗った私たちはためらったり迷ったりする必要はない。私たちは固有の自由権を守り、豊かな生の喜びを思う存分に享受す

るのだ。そして元来の豊かな独創力を発揮して、春の気配に満ちている全世界にわが民族の優れた文化を花開かせるのだ。

そのため、私たちはここに立ち上がる。良心と真理が私と足並みをそろえて進んでいく。老若男女を問わず、古くて暗い家から飛び出して、この世のすべての者とともに新しく生まれ変わるのだ。

内では数千年前の祖先の魂が私たちを助け、外では全世界の気運が私たちを見守っているのだから、始めから成功は間違いない。私たちはただ目の前の明るい光に向かって力強く突き進んでいけばよいのである。

三つの約束

- 一、今日の私たちの独立宣言は、正義と人間の道理を守り、繁栄し、生きていこうという民族の要求であり、自由な精神を発揮するものである。決して他人を憎み勝手なことをしてはならない。
- 一、最後の一人まで、最後の瞬間まで、民族の正当な意志を思いきり示せ。
- 一、一切の行動は秩序を重んじ、私たちの主張と態度は何事にもゆるがない。

朝鮮建国四千二百五十二年 三月一日（1919年3月1日）

朝鮮民族代表

孫秉熙	吉善宙	李弼柱	白龍城	金完圭
金秉祚	金昌俊	權東鎭	權秉憲	羅龍煥
羅仁協	梁甸伯	梁漢默	劉如大	李甲成
李明龍	李昇薰	李鍾勳	李鍾一	林禮煥
朴準承	朴熙道	朴東完	申洪植	申錫九
吳世昌	吳華英	鄭春洙	崔聖模	崔麟
韓龍雲	洪秉箕	洪基兆		